

高校生ワークショップ実施結果について

■実施概要

1. 日時

2026年3月6日（金）13：00～14：30

2. 会場

三重県立尾鷲高等学校 演習室

3. 目的

地域課題の解決を考える活動である「まちいく」で最終発表を行った内容について、さらに磨きをかけていくことで、具体的な取組として実現させていくことを目指すとともに、総合計画の後期計画策定における基礎資料とする。

4. 参加者

尾鷲高等学校2学年 3名

■高校生ワークショップの内容

時間	内容
13：00～13：10	■オリエンテーション ・主催者挨拶、趣旨説明 ・コーディネータの紹介
13：10～13：30	■「まちいく」での発表経験の振り返り ・発表した内容の再確認 ・発表内容及び発表経験に関する振り返り
13：30～14：10	■課題解決を妨げる要因と克服策の案出 「まちいく」で発表した課題及び課題解決策について、特に課題解決を妨げる要因と克服策について検討する
14：10～14：25	■作成したアウトプットの発表・共有 アウトプットとして作成した模造紙を発表・共有
14：25～14：30	■まとめ

■高校生ワークショップの風景

今回のワークショップでは、「まちいく」において、「空き家を活用して尾鷲市が明るくなるには」、「ごみ問題について」という課題を掲げて解決策を考案された3名に参加いただきました。

模造紙と付箋紙を使いながらアウトプットを作成していきました。



作成したアウトプットについて発表・共有しました。



最後に記念撮影を行いました。



■ワークショップで作成されたアウトプットについて

【課題1】

空き家を活用して尾鷲市が明るくなるには

【主な解決策】

- ・ 展覧会で見た工芸品を実際に体験できる場所を提供する
- ・ 展覧会で期間限定のイベントを開催する
- ・ ツアーの中により展覧会にくるということを追加する
- ・ 安く貸し出した宿に来てくれた外国人に英会話教室のようなものを開いてもらう
- ・ 大学や企業などに研究、調査のために貸し出す
- ・ 都会に住んでいる人達に向けて田舎暮らしを体験できる場を提供する

【課題解決を妨げる要因と克服策についての検討：今回のアウトプット内容】

- 都会に住んでいる人に対して非日常体験をしよう（国内向けの主なターゲットは、都会に住んでいる人とする）。…**非日常体験の場の提供**
- 外国の人に対しては、いつもとは違った日常を体験（ホテルで過ごすこととは異なる体験）をしよう。…**異質な体験の場の提供**

★外国の人ばかりでなく、国内からも尾鷲に人が来るようにするための仕掛けづくりを行う

- 展示会を完全体験型にする（見た目、中の雰囲気、物など全て）
- 夏休み、冬休みだけの家（夏は涼しく、冬は暖かく）を提供する。
…**滞在型・体験型観光の展開**

★尾鷲や空き家の魅力向上のための取組推進

- バズらせる：毎朝映っているテレビを使ってムーミン島を推していく！！
…**訴求する地域資源の選定と情報拡散の展開**
- 尾鷲市のパンフレットをつくっている人、営業している人：田舎らしくパンフレットから人と人の近さをアピールしながら、地域の「売り」を発信していく。
…**人と人との関わりの魅力訴求**
- 空き家問題を解決するためのグループを作る。SNSを開設して、問題解決を実現できるまでの過程を発信する。…**ストーリー性の創出と追求**

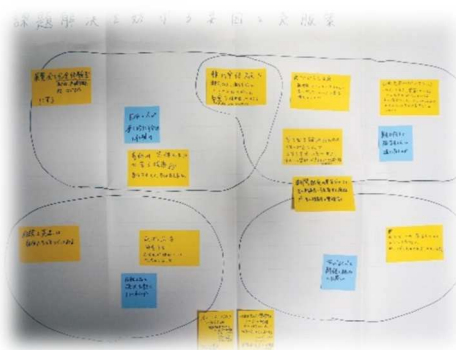
★地域の伝統工芸品の提供を地域の方に快く行っていたかく

- 伝統工芸品は提供してもらうのみならず、自分達でもつくってみる。
- 伝統工芸品を有している人に対しては、提供いただく代わりに返礼品を用意する（思わず提供したくなるような仕掛けづくり）。
…**地域内でのWin-Winの関係づくり**

★イベントを主催できるようにするための財源づくり

（市役所に主催依頼するだけでは運営が厳しい）

- 展示会は期間限定にして、その期間の管理担当を決める（例えば、地域の会社が担当する）…**持ち回りによる主催担当（負担のかからない運営体制づくり）**
- おわせお魚いちば「おとと」では、魚を食べられるようにして、美味しかったものを買ってもらう。…**体験販売の実施**
- 会社の人にも協力してもらう
例：朝日饅頭本舗さん：熊野古道を歩いてきた人にちょっと休憩で甘いお菓子とお茶でくつろいでもらう。…**イベントに関わることで利益につながる仕組み**



【課題2】

ごみ問題について

【主な解決策】

■ スポごみを実施する

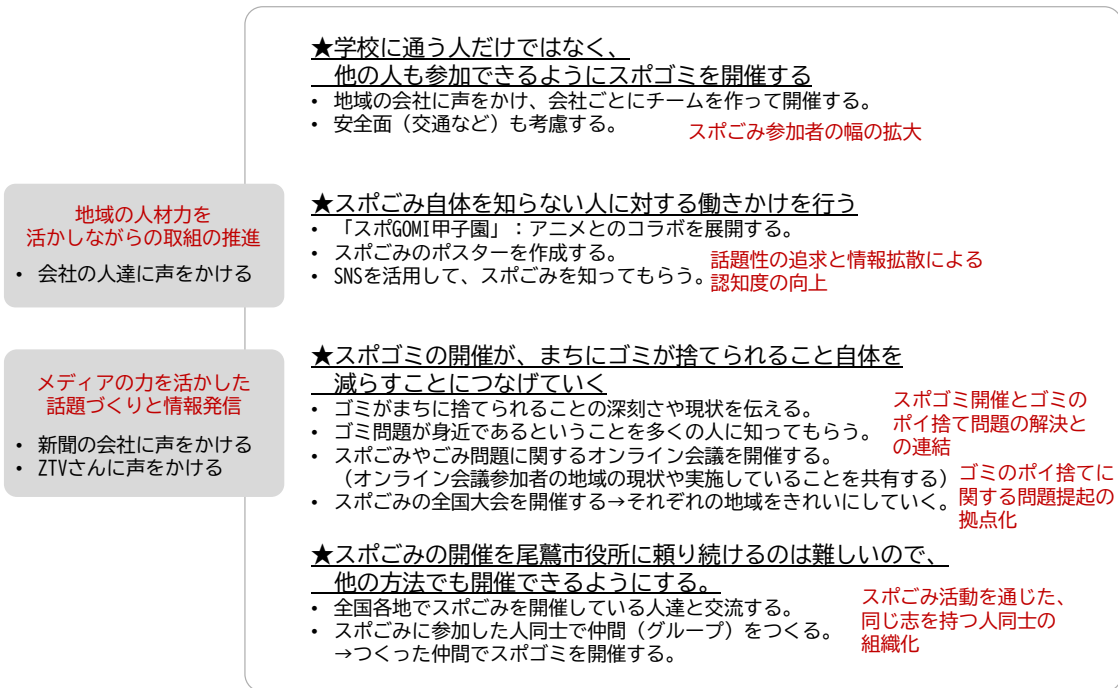
- ・ 楽しくごみを拾うことができる
- ・ 苦になりにくい
- ・ 拾った人の環境への意識が変わることが期待できる

※クイズ大会等を同時開催

※景品を用意

※小学校、中学校などの学校単位で行う

【課題解決を妨げる要因と克服策についての検討：今回のアウトプット内容】



■総括

今回のワークショップでは、課題の解決を阻む要因について明らかにしたうえで、その克服策を考えるという、「まちいく」の活動で作成されたアウトプットを補完する位置づけで進められてきました。

課題「空き家を活用して尾鷲市が明るくなるには」においては、空き家活用のためには、人の流れをつくる（いわゆる関係人口の増加）が深く関わっており、そのためには、非日常的な体験、異質な体験を通した観光、さらには滞在型観光の開発が鍵を握ることが確認されました。また、取組を行う体制についても、互いがWin-Winによる関係となる仕組みと併せて構築することが求められてくる点についても目が向けられました。

課題「ごみ問題について」においては、スポごみの展開がより効果的になるように、話題性の追求と活動に係る情報の拡散による認知度向上が有効であることが確認されました。また、スポごみを開催することで、地域に落ちているごみを減らすのみならず、ごみのポイ捨て自体を減らすこと（意識啓発）にもつながるようにするという重要な視点にも目が向けられていきました。さらには、仲間づくりを行うことで組織的な取組として育てていくことの必要性も確認されました。